



3月
24日

火まつり落語会



話芸で地域を盛り上げる
 勝部二丁目の火まつり交流館では、地元在住の社会人落語家・神楽家小粋さんが昨年社会人落語第10代名人に輝いたことから、笑いで地域を盛り上げようと「火まつり落語会」が開催されました。高座（ステージ）は勝部自治会の手作り。第1回のこの日は、神楽家小粋さんと、落語仲間の立の家やよいさんが全3席を披露し、約90人の観客を話芸で魅了しました。

3月
15日

文学・歴史講座



守山の詩人・大野新の詩と人生
 詩の芥川賞といわれるH氏賞を受賞した守山の詩人、大野新さん（2010年没）の作品と人生を巡る文学・歴史講座が開催されました。参加者約50人は、講師の苗村吉昭さん（日本現代詩人会・近江詩人会）が語る、満州引き上げや結核療養などの写真や作品を通して、大野さんの想いの一片に触れ合い、熱心に聞き入っていました。

3月
30日

今浜町樹下神社で硫黄夜祭



民話「お満灯籠」ゆかりの湯立神楽
 民話「お満灯籠」で、お満の乗ったたらい舟の残骸が流れ着いたことに由来する硫黄夜祭が、今浜町の樹下神社で営まれました。「比良八講荒れ終い」といわれる春の風の時期に行われ、地元では祭りの後から本格格的な香とされています。お満の魂を慰めるとともに厄除けを願って、竹とカラムシで作った的を鳥居に立て掛けし、湯立神楽を奉納しました。

3月
30日

大庄屋諏訪家屋敷で伊勢大神楽



国と市の文化財がコラボレーション
 国重要文化財の伊勢大神楽「獅子舞」が、市文化財の大庄屋諏訪家屋敷で初めて行われました。これまで地域の家々を回る門付けで行われてきましたが、赤野井自治会が貴重な文化財のコラボレーションを企画。伝統を受け継いできた大神楽の舞や曲の総寄りまで約270人が熱心に見物し拍手を送っていました。

守山市の人口
 平成31年3月31日現在（前月比）

人口	83,313 (+135)
男	41,134 (+84)
女	42,179 (+51)
世帯数	32,326 (+197)

双眼鏡
 昨年度、表紙の写真を担当したが、毎回何を撮影しようか悩んでいた。発行日のおよそ2週間前に撮影を終えておかなければならないため、会心の出来の写真が撮れても発行日には時季外れとなり、泣く泣く却下したのも少なからずい▼表紙の写真を選ぶときに心掛けているのは、「守山市民の今を写す」ということである。なるべく市民の皆さまが写るよう、また季節感があり、後から見たときに「この時期にはこんなことがあったな」と思ってもらえるような写真が撮影できるよう、これからも日々精進していこうと思う▼さて、今号から表紙のデザインを含め、広報もりやまを一部リニューアルしました。より見やすく、より分かりやすく市民の皆さまに情報をお届けできるよう今後も改良してまいりますので、ごつきようしくお願いたします。（た）